` `

まのてはおお

致客さこし躍

し様せとての

°つ今り私況ちにますおい私り陰ことし我御年さ

て年回達で着おだ ^陰た達まとれがいが座明わ

こ新でう新

えもさで様

修

セ

ン

開

に

9

1

7

るにまと

とだがす本も出年社いけや

心い日。当皆来をもままか

かて頃まに様ま無皆すし社

らい、た感のし事様 °て員

感る仕こ謝ごたにとおおの

謝お事の致活。迎と陰め皆

## 社 長 年 頭 挨 拶

な大

を

失う

九九 九九 00 1ン 3ス 四四

号 3

支

第28号

行

中京式 X話央都会 ビ渋社 〇〇ル谷第 区一 7代ビ 三三階々ル 丁テ 目ナ

わ方

やパ

か丨

社ク

**員・** 

:木

藤丨

早ズ

さ

まをののてき喜し場 らにいしと 代平 てて心益さ協は 雰綺私事頼は 表成 い、か々わカ、さす行声お今たばいを今生仕雰てをお囲麗たのが、私り事 た新らのやを今わ。つを客年いれ職綺年ま事囲く期客気にち基あおたまな だ年祈ごかお年や て聞様もとる場麗はれを気れ待様にしの本る客ちす職 きの念健社願もか いけか昨思仕をに今ま行とてしはすて職にか様の まご申勝員い変社 きるら年い事創しますつはい、私る明場帰らよ今 す挨しとの致わ員 たよ喜以まをりてで。て、ま仕達こるへるでりが ◦拶上ご皆しらの いうび上す行お明以 いーす事にとく現しす仕あ とげ多様まぬ皆 となとに。つ客る上 る生。をこで楽場と。事る さま幸のす、様 思仕感沢そて様くに 姿懸楽依のすし→は¬のの せしを 。ごに い事謝山しいに楽現 か命し頼こ゜いを〝仕依

すかて振し状落本

いもさははきいま

き力れ今あをてだ

た強ず現り取政世

いく未在まり治界

思ちに混。せ経及

い向向乱しな済び

けにかいと日

と立来のす戻

たつ頼よいり感なり合おすさ喜まし帰

ちなでりるまをいまで客○ればすてる今

はがき貴とす与ます仕様しるれ。い」年

りな方い °えま °事をか仕る私きをは

まい達う不てにそを忘し事仕達たティ

すとにこ快いおしすれいを事はい | 仕

そう仕はをこ様気こ自のてまお考にの

しこ事お与とにがと分間おた客え仕基

てとを客えが不付がのにり感様て事本

私に依様てあ快かあ都かま謝にいをに

°いはと感る客てるてつし 、 、とマ事

おもめ発すいでや練ルよ研まに修向こ研上用貸 願皆て展 °き研か施クり修す `が上れ修 `し会こ い様参にそた修社設リ開セ渋本出をかを技て議れ 致のり貢しいセ員・「設ン谷社来目ら行術品室ま しごま献てとンの設ニいタ区のる指はっの質 ま協すでお考タ研備ンた「代す体し更て向や及は す力のき客え│修のグしを々ぐ制てな参上サび本 ○をでる様てをと研技ま十木近を毎るりを「現社 よこよのお活フ修能し一三く作日サま目ビ場会 ろれう更り用ル・士た月丁にるで「し指ス等議 しかになまし回さの。一目な為もビたしのを室 て転わ訓ビ日にり 研ス 。て向利 くら努る

> んさべ わル やレ かし 社ジ 員ュ :向 秋ヶ

願まかをま業の いすらいし務皆居 致のもたたを様住 しで益だ。やに者 ま今々きこつ支の す後頑まのてえ皆 ◦と張しよくら様 もりたうるれの よたのなこてお ろいで立と本力 しと、派が日と く思こなでま会

♥おいれ賞きで社

さおさ れ客わ ま様や ノよか たり社 表員 彰が

さわやか社員慰労会

い決なごてさこき まめがざ仕いん、こ しならい事まな只の たが報まにし立只度 ○らいす精た派驚会 、て。進以なき社 誠行皆し上喜入よ にく様て、びつり 有こに参前をて表 難と支るに与い彰 うをえ所もえま状 ご心ら存増てすを ざにれでし下。戴

> い謝かしらがだ さ功に たの社てぎ*、*いこせ労てさ**さ** だ気員いと日たのて賞優わ**わ** き持のた活々方場いの秀やや まち皆だ力業はでた発さかか すを様いの務一表だ表わ社 **社** 。おにてあに部彰き及や員員 伝、いる励のさまびか慰優 えこる場み方せし、社労 秀 さこさを、でてた表員会賞 せでわ提やすい。彰賞の

> > ~ 大

参江

加戸

者温

総泉

1

名

吉丘

善園

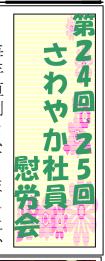
市

遊

を・場

これからも宜し くお願いします。

こ頂や温十浅致さ ときか泉一草しわ毎 が、社物月ままや年 で大員語につしか恒 きいのにはりた社例 まに皆てお湯。員と し親さ、台、昨慰な た睦ま多場続年労り 。をにくのき九会ま 深ごの大ま月をし め参さ江しに開た る加わ戸ては催



願ご◎ いざ受 致い賞 しまさ

ますれ す。た 。今皆 後様 もお 宜め しで < E おう

中千埼川川横第第第第第第 央葉玉崎崎浜四四三三二一 支支支支支支支支支支支 

て感や供す

上小平熊柴渡横藤波平鈴山篠 十木松田崎辺山田頭久木辺原 二久潤玲恵伸初光一江静厚敏 名子子子一夫江江夫 子子子 のさささささささは顕さささ 皆んんんんんんんんさんんん ん

中中中千埼埼川横横第第第第第第 央央央葉玉玉崎浜浜四四三二二一 支支支支支支支支支支支支支支 

上吉佐根前古岩南山小田安能真落松 十沼藤本川田佐條本山中永村壁合村 政ーキ浅次祥英トイチ恵よ政シ 名功子郎ク吉男子雄ミソイ美し子ヅ のささささささささ子ささ子こさコ 皆んんんんんんんさんんささんさ 6  $\lambda \lambda \lambda$ 

受さ 賞わ 者や のか 皆社 さ員 ん優

(浅

参草

加ま

者つ

総り

勢湯

1

9

6

佐り自よ後りたまと・場とマを勢今 藤た分りと、後しり力にいは実1回 い自、も目のたのが分う、施1も 友と身集日が皆。思湧かこ現し6十 一思の中々輝の達いくれと場ま名月 郎いレ環のい顔成を環気でのしで三 一まべ境環てが感込境持、環た、十 しル整境い自かめ作ち1境。集一 たア備整ま信らてりの9整今中日 ッを備しにか実に良箇備回環へ プ通はたみ終施一い所をの境日



すのしす体けが県にケす維すです日せ体班 いや作社きま ◦参ま ◦に大りにな | ◦持 ◦落る々んのはさたかる員続し第 へ加すもないとありシだ管こち、の。関常わし社為のきた四<br/> 及おのちれにバるまョか理れな定汚さ係にやま員、皆、。回 川待でろた盛<sup>1</sup> 日すンらがでい期れわで現かしバ定様さ前目 、んとりべ立。はこ可現汚班をやな場社たス期とわ年と 聡し是来感上キ海今 `そ能場れが落かけ管員 。ツ班交やにな て非年じがュ浜回とコにのを日と社れ理さ アに流か引り おともてり「公はてミな継落々し員ばとん | よの りも実お一に園、もュり続との、さなしと をる機 ま皆施り心出へ茨重ニましし汚維んりて定 開さ会 様致ま同か梨城要

へ図てと今ぎっしひ境現る | 備総

をじも 。なわ致人環のすテ整`

たまれ持がま一期

へい是りた感へに終者しサ挑たレと1参来こを十

た優

`物外ル消嘔ルつ順す剤ヤトをク分順トペバル<sup>|</sup>備

、杯しす、し

消弱て。ビな

毒~2水ニい

液の0道」よ

を塩m水ルう

つ素11エに

ビを側を毒吐をた2 °をツルつ `が1ペーケ袋ルす

拓ち参。者うをが後っに∫いいるに 哉し加興にこ語りのた励のま思者な ~てし味資とり、宴よま皆しい・り おての格が合感会うさのたの回初 りみあは出い想もでれ介。気数め まてる必来、や最す歩抱ま持をて す下方要ま充次高。いやたち重チ

。さはあし実回潮



新

ンバ

# 崎おとせ参味抱りつ多応 し、ジ人9者しがえ回回 待もん加わ負上たか援タて思す数名もた出る目で

## 2 支

て

## 勉今 強回 ま嘔 し吐 よ物 。処 理 に つ

まカま生しに業川配 すのす懸ま色界こ属第 ◦程の命う々がずに2 宜で努とと全えな支 、カ思ごくでり店 ごしい迷異すま、 お指たま惑な。し営 願導いすをり前た業 い、とがか、職、事 致ご思、け皆と長務 し協い一て様は谷に

**-**り漂ヘリロマ -レン剤ニビ○

混プにけ手感ー「パツ、手る

ぜ1対ま袋染 パー、市袋も

一タビ販、の

ルー塩ス

又ル素ク

は工系、

トプ漂ビ

オニのマ

催わを



二包かか薬物浸消

袋み側ましれ軽に

| みらぶにがし毒

ル込内せ浸隠て薬

になにすたるく、

入が向。ぺく絞ぺ

れらけそしらりし

ま拭てのパいまパ

くよがしりら葉業 おう、ま、な友事十 願に皆うごい理務月 い頑様か迷こでにか 致張のも惑とすなら しりおしをも。り第 まま役れおもまま3 すすにまか多だし支 。。立せけ々また店 宜てんしあだ、の

袋きし食くをすスと縛ビによたと でい嘔注 に、たし換洗。ク廃っ二入うぺそ嘔手。り吐、オ、。オ作手ま白キッンス自手ッ、、「ニ準 感上吐意 入乾ペて気い水の棄て「れに」の吐**順** れ拭ししま道順し密ルま拭パ周物3 染が物事 、きパまます水にま閉袋すき「囲が→ するが項 廃を∫うす。とはすしに。取夕を付 ると乾≫ 棄行タの 。窓石ず 。、入手りオ、着 危、燥 険そし しい才で金を鹸しエビれ袋、ル消し ま、ル、属開で、プニ、をビな毒て がれて すビな水部け、廃口「必はニど薬い あを空 。ニどに分てよ棄ンルずず<sup>1</sup>でにた り吸気 「で濡は、くし、袋口しル浸浸部 まい中

••••••

····

願

61

す担

。当

にご

連

絡

お

■す取嘔後タにすタ

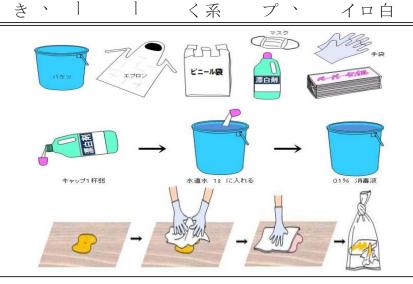
ル拭ら腐よ手まマごを、袋すし分 当しみ業し人 連 へたた務た数お ごらい、。は陰 致各絡 し営先 紹、と管お2様 ま業し 介ぜい理知2で くひう人り4さ < だと方業合2わ さもが務い名や い各おをでにか

◦営らや∖達社

業れっ清し員

担まて掃まの

お ご友 紹達 介を ださ



連すぺに4い換す 絡のツ注8 。気。 しでト意時嘔す処 て、等し間吐る理 下使はて程物よ終 さ用変く度をう了 いせ色だは処に後 。ずしさ、理しは 、てい感して、 担し。染たく速 当まカのあだや 者い「有とさか

無

へま

VI

込に

ん舞